

# 第11回ODR推進検討会

JUL.29.2021



オンライン紛争解決システム

# Teuchi

テウチ

MIDDLEMAN

1

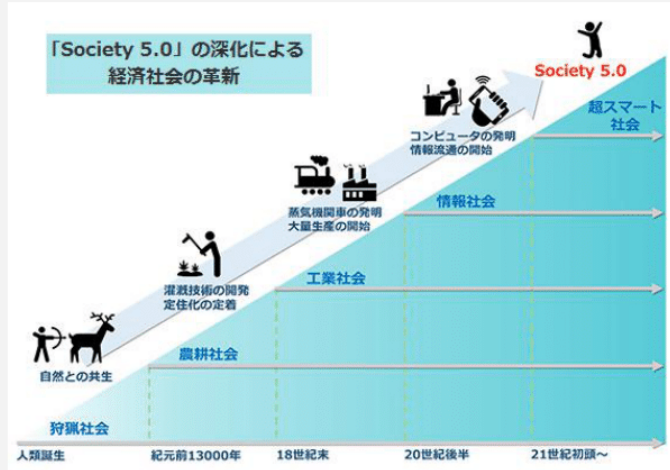
はじめに

2

社会実装上の課題

# 1.はじめに\_ODR活性化検討会の意義の再確認

## Society 5.0



様々なニーズに対応できる社会

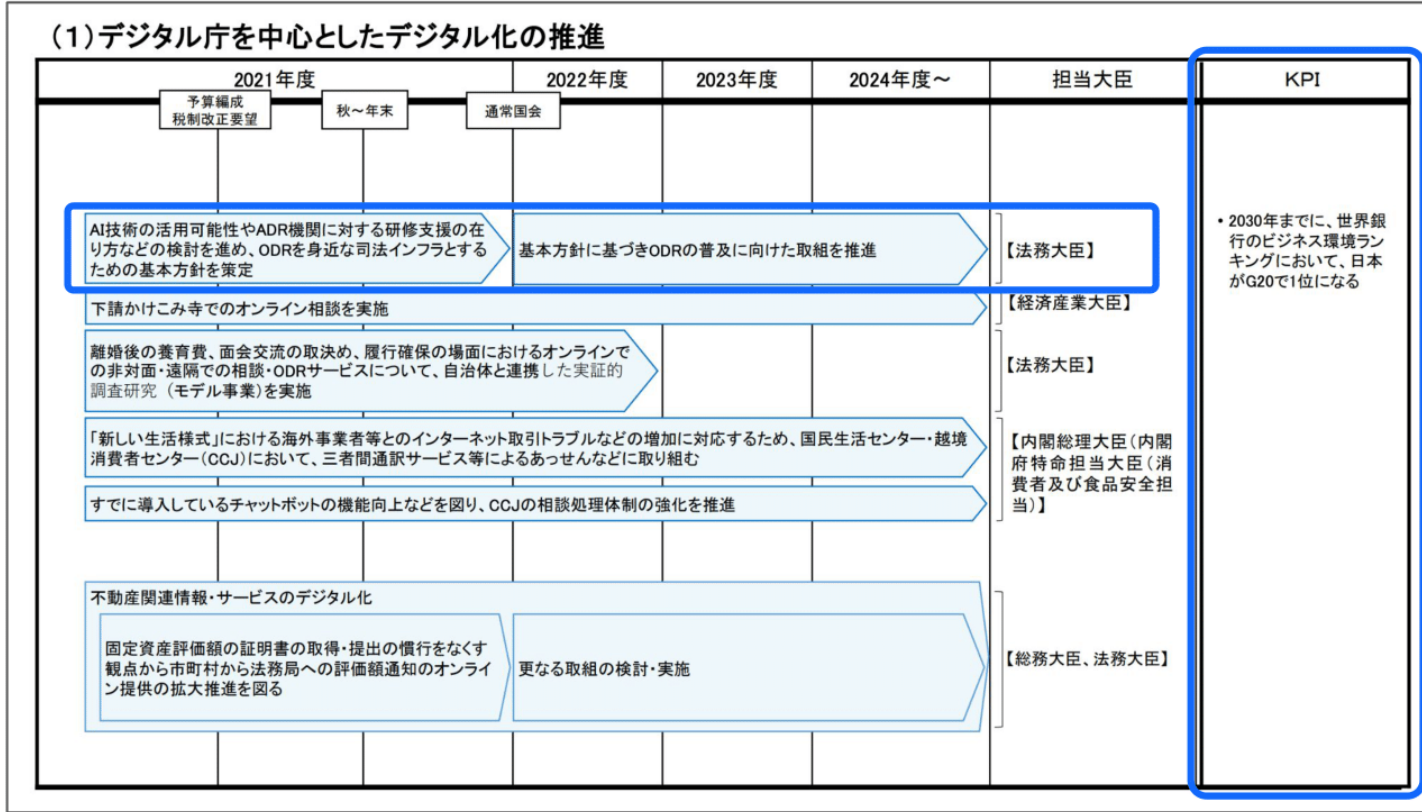
## SDGs



2割司法問題の解決

司法DXの社会的要請は待ったなしの状況

# 1.はじめに\_ODR活性化検討会のKPI再確認



2021年「成長戦略フォローアップ工程表」6ページ

2030年までに世界銀行ビジネス環境ランキングでG20内1位





**BtoG**  
Government



**BtoP**  
Public

ビジネスと社会貢献を大きな規模で達成する社会課題解決型スタートアップ

# 1.はじめに\_Teuchiの現在地

| ODRの進行フェーズのイメージ   |  |   |  |   |     |
|---|--|---|--|---|-----|
|   | ①検討・情報収集                                 | ②相談   | ③当事者間交渉  | ④ADR<br>(調停・あっせん等)  | ⑤裁判 |
| <b>第1段階</b><br><b>【導入フェーズ】</b><br> | (インターネット上で) 法情報・解決手法等に関するランダムな検索         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○メールでの相談・資料提出</li> <li>○テレビ・ウェブ会議の活用</li> </ul>                                    | 市販のメール・SNSツールの利用                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○メールでの申立て、資料提出</li> <li>○テレビ・ウェブ会議の活用</li> </ul>   |     |
| <b>第2段階</b><br><b>【発展フェーズ】</b><br> | (上記情報の) より効果的な検索、信頼できる情報の集約されたポータルサイト化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○非対面のチャット方式(メッセージングアプリ等)の活用</li> <li>○先例の検索等による相談場面での活用 ⇒ 相談対応の迅速化・質の向上</li> </ul> | (紛争解決に特化した) 専用アプリ・ウェブツールの開発・提供(カスタマイズされたウェブ会議、チャット方式等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○非対面のチャット方式(メッセージングアプリ等)の活用</li> <li>○(ADR機関共通の)専用プラットフォーム(記録提出・管理・保存・振り分け機能)</li> </ul> |     |
| <b>第3段階</b><br><b>【進化フェーズ】</b>  | AIによる情報提供 ⇒ 先例分析による解決の選択肢・解決水準・解決可能性等の提供 | AIによる自動応答・相談支援 ⇒ 相談内容の整理・相談員支援  | AIによる交渉支援 ⇒ 場の設定、合意誘導、解決目安の提示・合意案の検討・作成の支援             | AIによる合意解決支援 ⇒ 調停人サポート型 / 当事者支援型   |     |
| 相談・交渉・ADR業務において、将来的にはAIによる個別事案の分析、診断、妥当な解決案の提示等を行う専門家等の判断を支援するAIツール   |  |   |  |   |     |

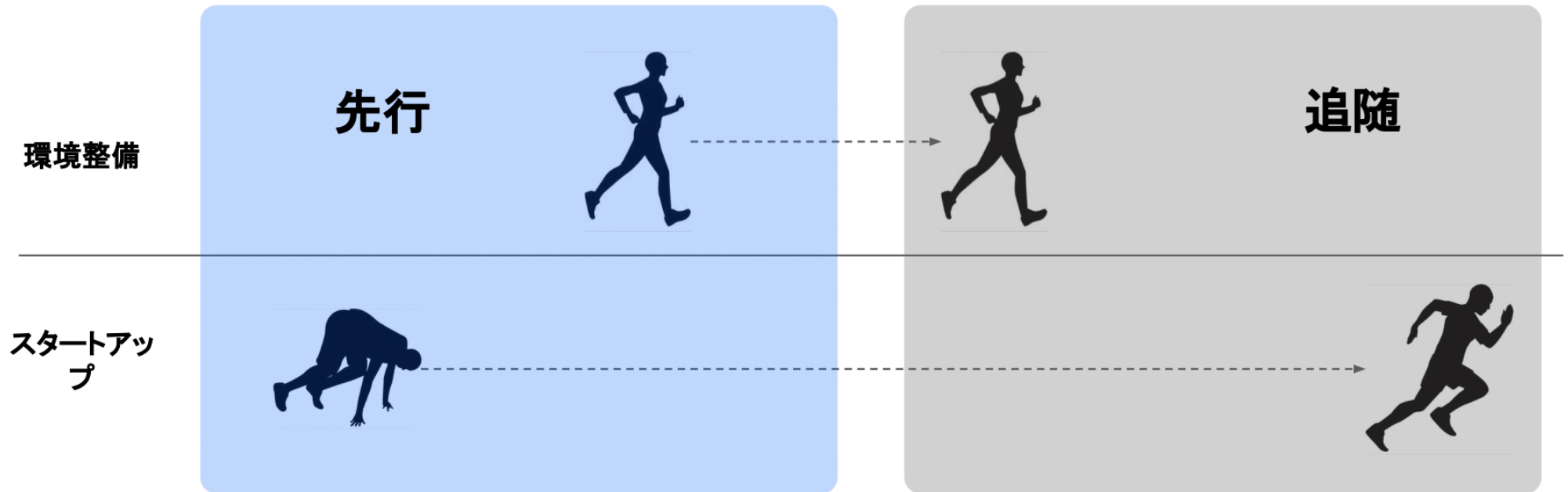
「ODR活性化検討会」資料

本発表における社会実装に関する課題感は全て第2段階③④に対するもの

# 1.はじめに\_状況の変化

2019年9月  
ODR活性化検討会

2021年7月  
ODR推進検討会



スタートアップの開発はすでに環境整備を追い抜き、  
そのことによって、スタートアップだけでは解決できないことも出てきている

1

はじめに

2

**社会実装上の課題**



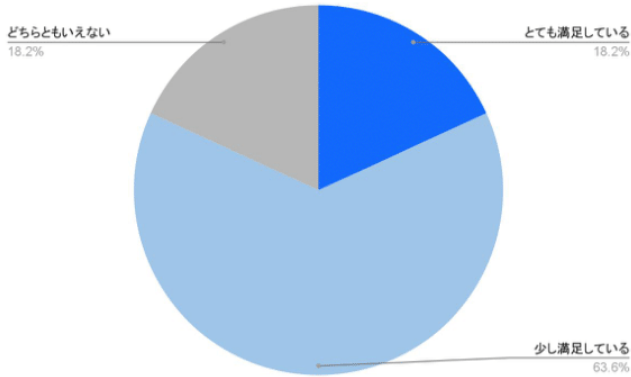
|                 | シェアリング<br>エコノミー            | 災害     |                            | 離婚   |
|-----------------|----------------------------|--------|----------------------------|------|
|                 |                            | テナント賃料 | 結婚式キャンセル料                  |      |
| <b>①</b> 応諾率    | 100%                       | 0%     | 30%                        | 非開示  |
| 和解成約率           | 100%                       | -      | 100%                       | 100% |
| <b>②</b> 平均和解金額 | <b>6,366円</b>              | -      | 275,280円                   | 算定不能 |
| 平均解決期間<br>(外れ値) | 11営業日<br>(24営業日※1)         | -      | 10営業日<br>(23営業日※2)         | 非開示  |
| 平均ラリー数          | 114回                       | -      | 142回                       | 非開示  |
| 平均総文字数          | 約16,000文字                  | -      | 約35,000文字                  | 非開示  |
| 平均文字数/投稿        | 約140文字<br>(min.0-max.2748) | -      | 約250文字<br>(min.0-max.3224) | 非開示  |

※1: 申立人の体調不良による長期化 ※2: 相手方が代理人弁護士を選任したことによる長期化

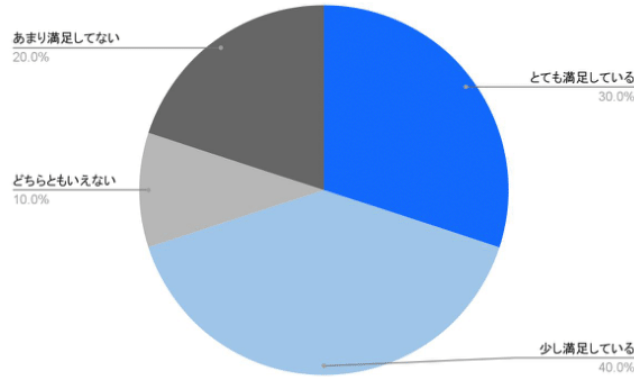
**①** 応諾率の向上策、**②** マイクロクレームへの対処については後述

# 2.0.社会実装への課題\_Teuchi利用者アンケート結果(5段階評価)

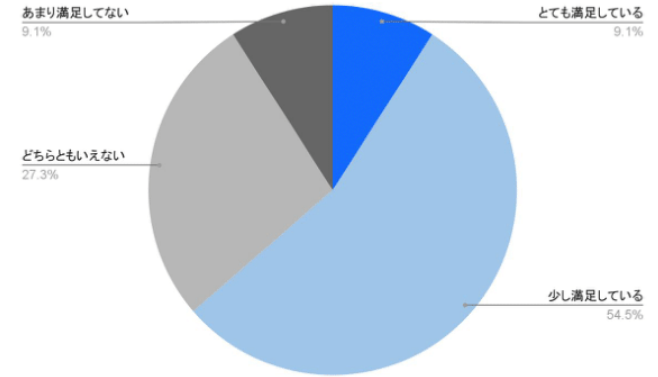
システムへの満足度



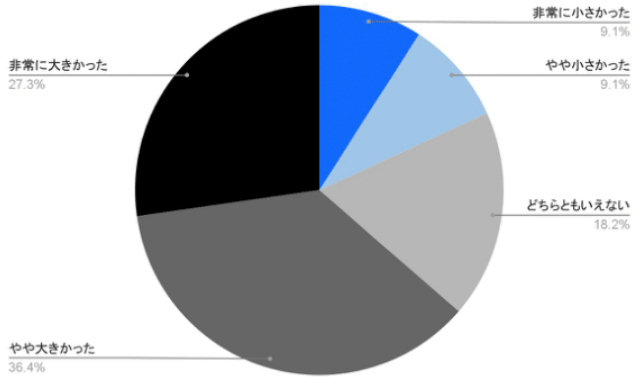
調停人への満足度



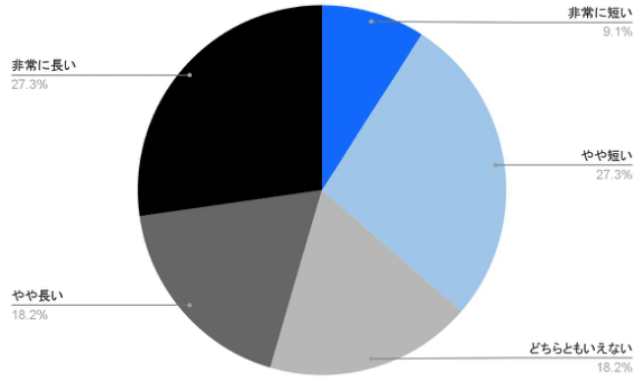
調停結果への満足度



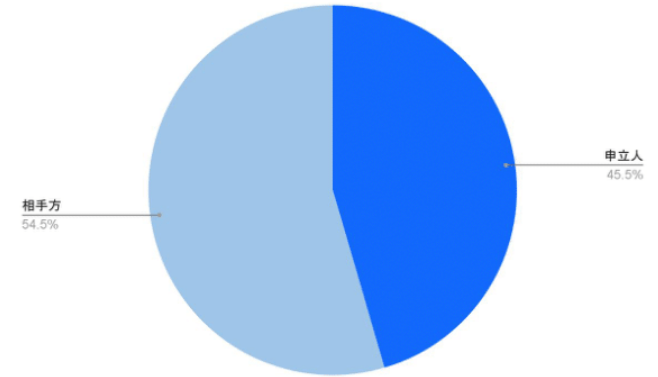
調停における主張立証の負担感



調停にかかった時間への評価



回答者の属性

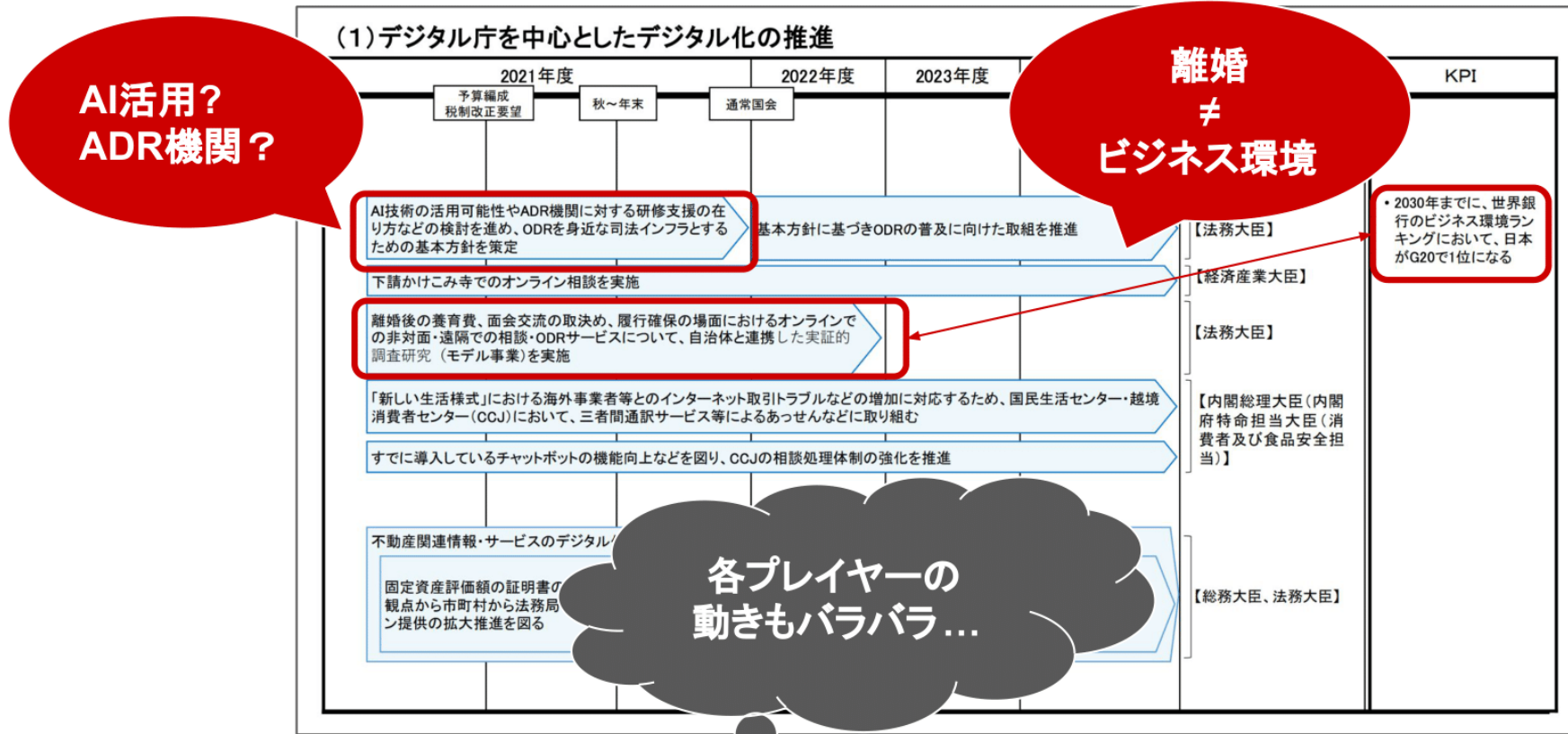


満足度については及第点である一方、負担感については更なる改善が必要

1. 共通アジェンダの策定
2. ADR認証取得プロセスの改善
3. ODR連携推進窓口の開設
4. フェーズ2.5と弁護士法72条の問題への対処
5. 当事者負担の軽減
6. 調停人育成コストの軽減
7. リスクの過大な見積もりへの対応
8. 士業団体との連携のあり方

これまでの社会実装への取組みを踏まえ、8つの提言をさせていただきます

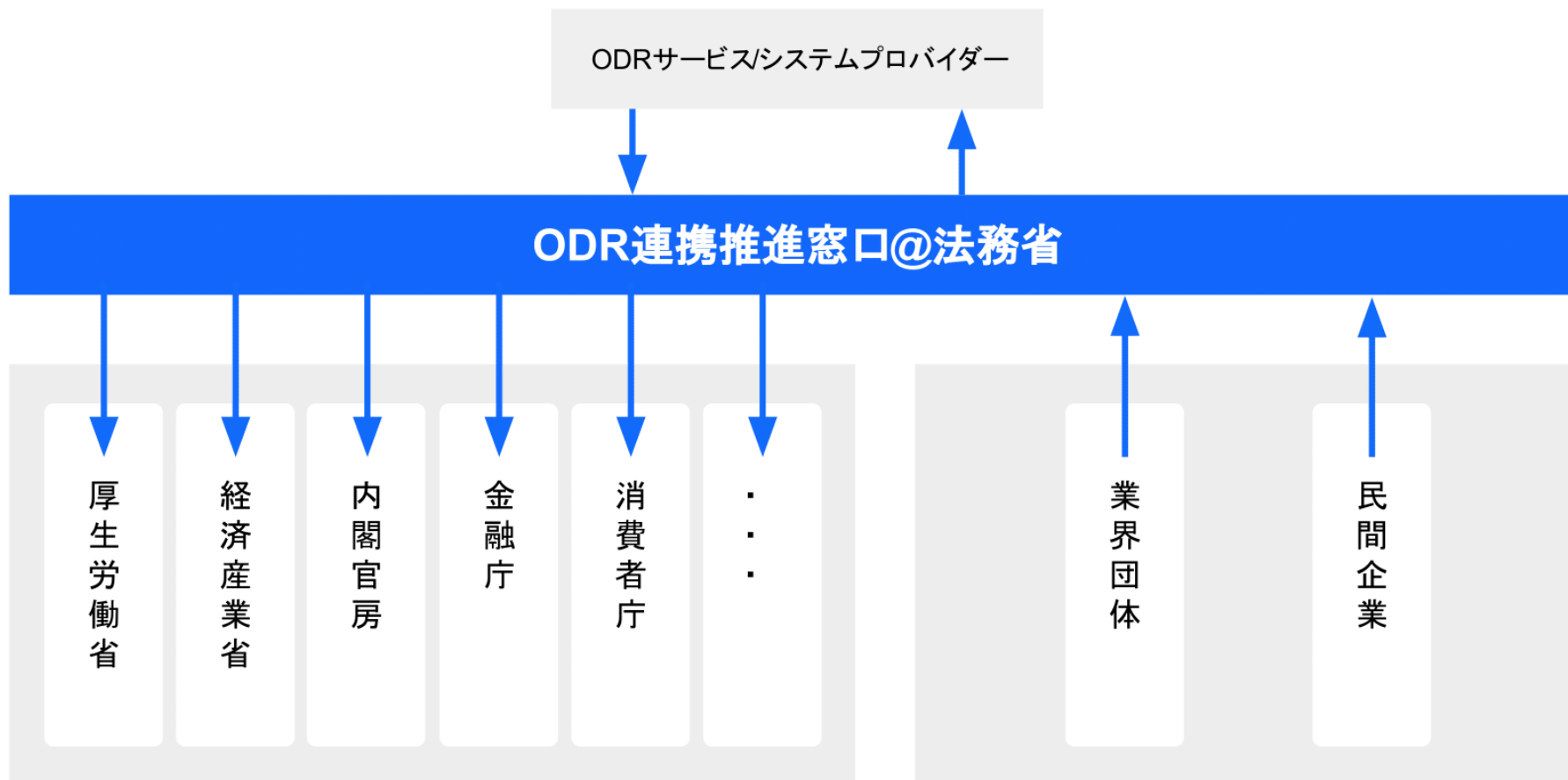
## 2.1. 共通アジェンダの策定



2021年「成長戦略フォローアップ工程表」6ページ

整合性をもった、よりインパクトのある共通アジェンダの策定が必要ではないか？  
 シェアエコを参考に継続的/定期的な産学官ミーティングがあってもいいのではないか？





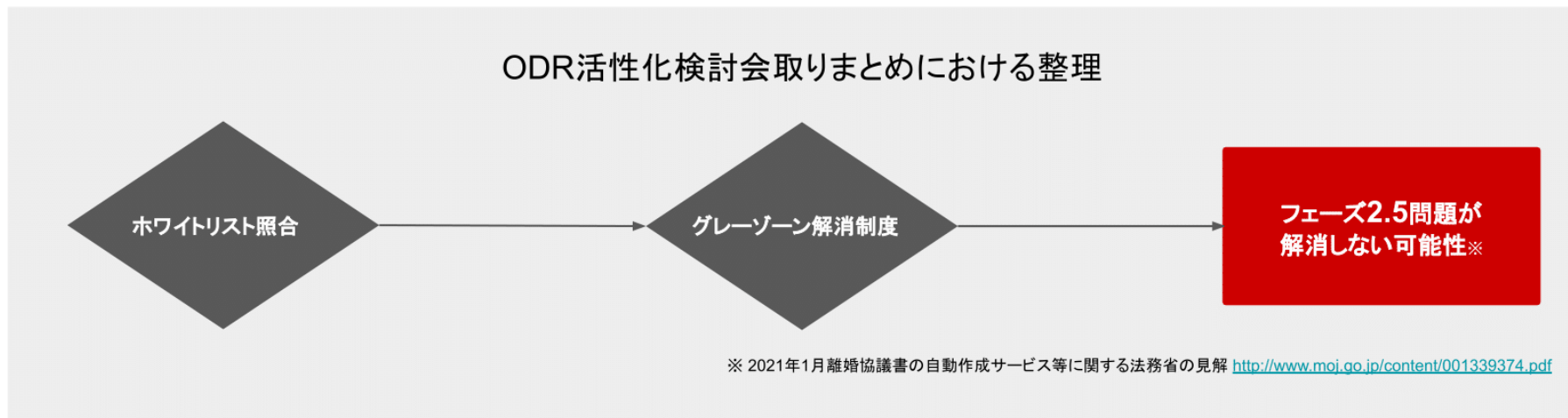
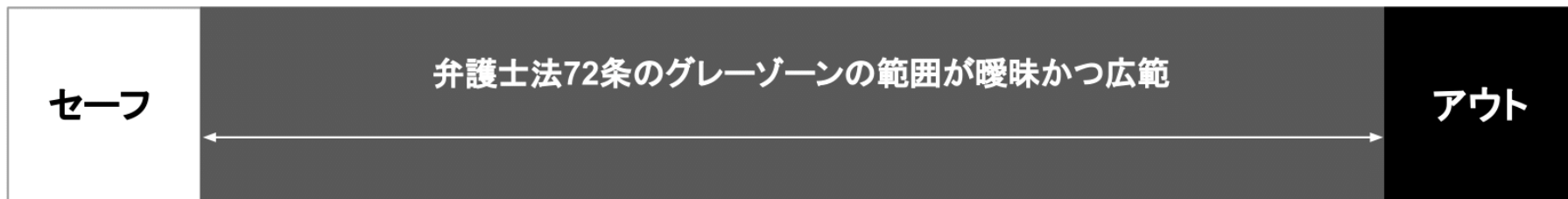
業界単位の導入は、ODRの社会実装においても応諾率向上においても重要  
縦割りの行政問題や相談先のわからない状況克服のため連携推進窓口の設置をご検討いただきたい

# フェーズ2.5※問題とは？

※ODR活性化検討会「ODRの進行フェーズのイメージ」における区分ご参照

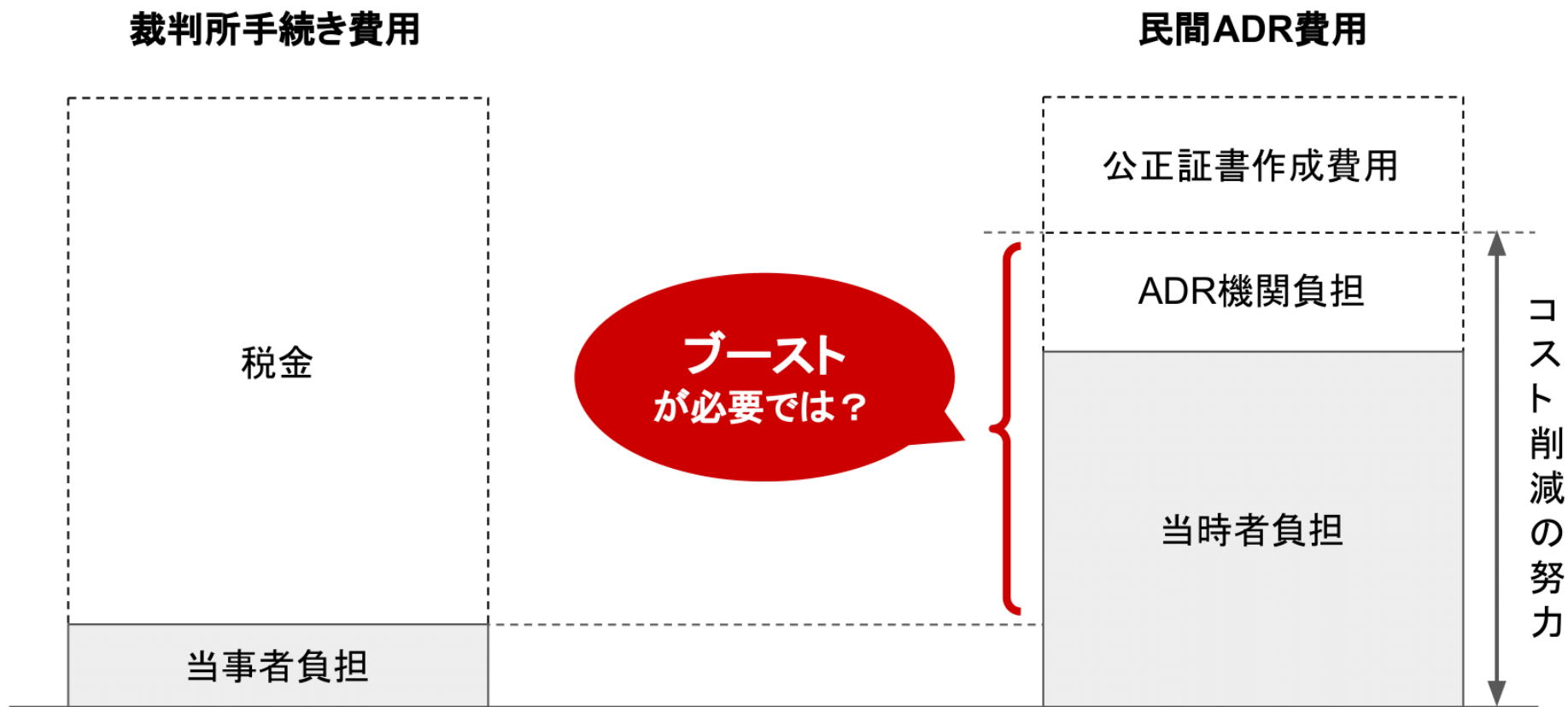


ODRシステムプロバイダーは定型的トラブル解決のためのアルゴリズム開発に向かうと予測  
そこで生じうるのがフェーズ**2.5**問題で、スタートアップだけでは解決困難な問題



ODR活性化検討会取りまとめにおける整理によっても、安心してODR事業を行いうるのか  
リスクを正しく認識することができない可能性があり、必要な措置等について早急にご議論願いたい





ODRを裁判所と並ぶ魅力的な手続きにするためには「ブースト＝利用料の補助」が必要では？

## 2.5. 当事者負担の軽減\_利用料補助②



The screenshot shows the Chiba City website page for the 'Divorce-related Parent Support Advancement Grant (ADR - Maintenance Guarantee Utilization Grant)'. The page is in Japanese and includes a navigation menu, search bar, and a sidebar with various support categories. The main content area is titled '離婚前後の親支援推進助成金 (ADR・養育費保証利用助成)' and includes a description of the grant's purpose, a list of objectives, and a list of eligible expenses.

**現在のページ:** トップページ > 子ども・家庭・教育 > 子ども・家庭 > ひとり親家庭支援 > 離婚前後の親支援推進助成金 (ADR・養育費保証利用助成)

**ひとりで親家庭支援**

- ひとり親家庭ホームヘルプサービス
- 母子生活支援施設
- ひとり親家庭等医療費助成
- 児童扶養手当受給者等への都営交通無料バスの発行等
- ひとり親(父子)家庭支援助成
- 養育費と面会交流
- 母子及び父子福祉資金【新型コロナウイルス感染症に伴うひとり親家庭への生活資金貸付について】
- 離婚に伴う子どもの養育支援
- DV被害者更生プログラム利用助成金
- 令和3年度DV被害者支援活動助成金の募集のお知らせ
- 「エンジョイ・セレクト事業」を開始します

**離婚前後の親支援推進助成金 (ADR・養育費保証利用助成)**

親の離婚による子どもの心理的負担の軽減及び安定した生活の確保を図るため、離婚を考えている親及び離婚後の親を対象に、離婚後の養育費、面会交流等に関する取決め及び養育費の確保を支援します。

**事業の概要**

(1) 裁判外紛争解決手続(ADR) 利用助成

**事業の目的・概要**

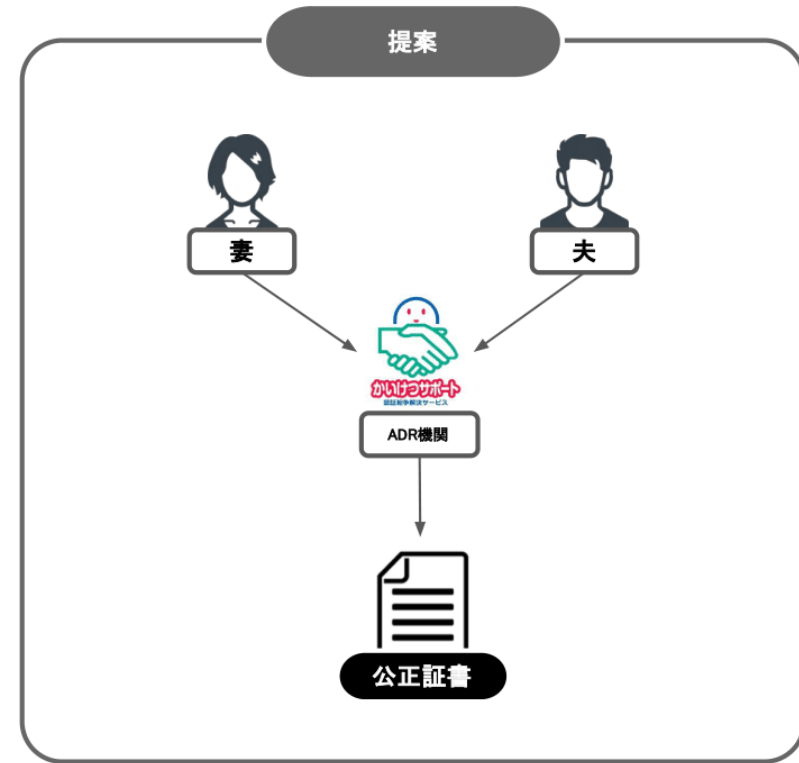
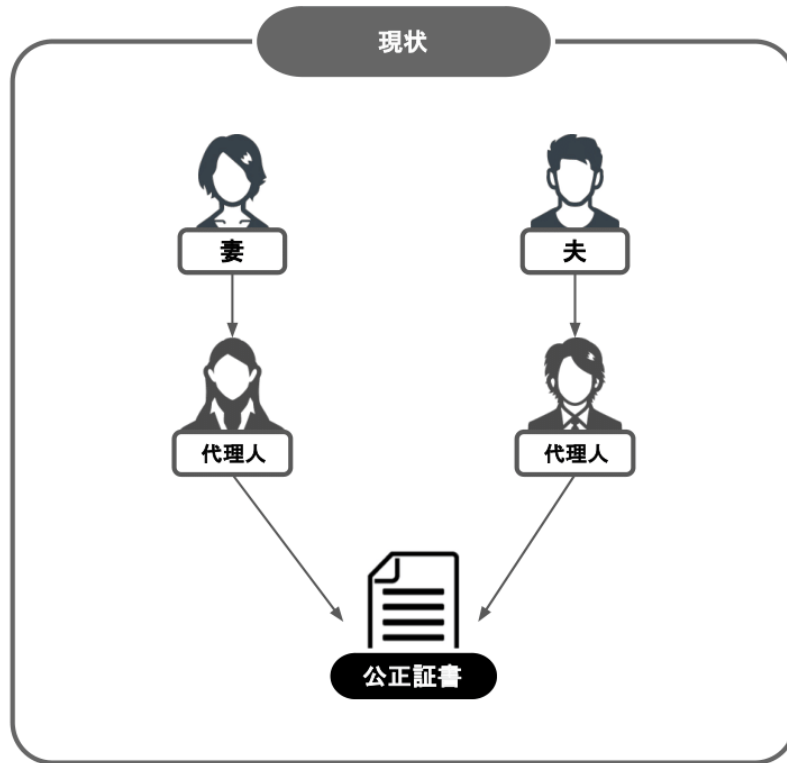
離婚後の養育費、面会交流等に関する取決めをするため、弁護士法(昭和24年法律第205号)第31条の規定に基づき設立された弁護士会及び裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律(平成16年法律第151号)第5条の規定に基づき法務大臣の認証を受けた認定ADR事業者が実施する裁判外紛争解決手続(ADR)の利用にあたり、1回目の調停期日までに必要な経費の一部を助成します。

**助成対象経費**

- 申立者(助成金の申請者)が負担する申込料、依頼料に相当する費用及び1回目の調停期日費用
- 相手方が負担する申込料、依頼料に相当する費用及び1回目の調停期日費用(ただし、申立者が相手方に代わって費用を負担した場合に限ります。)

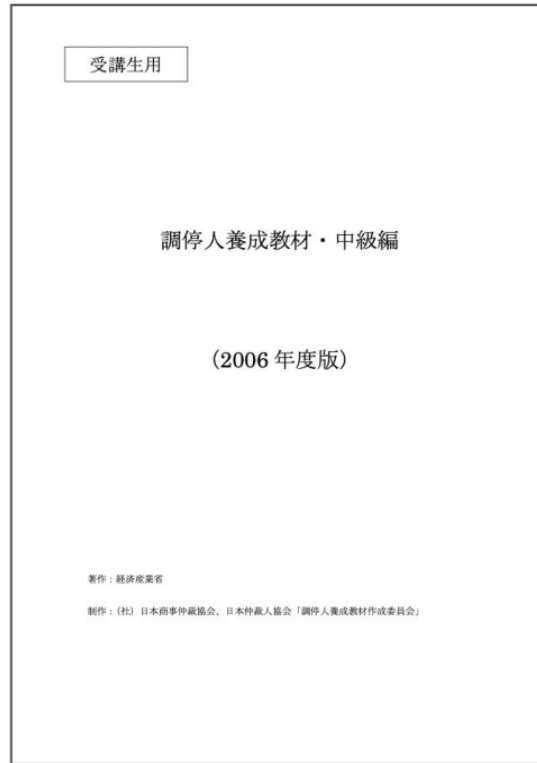
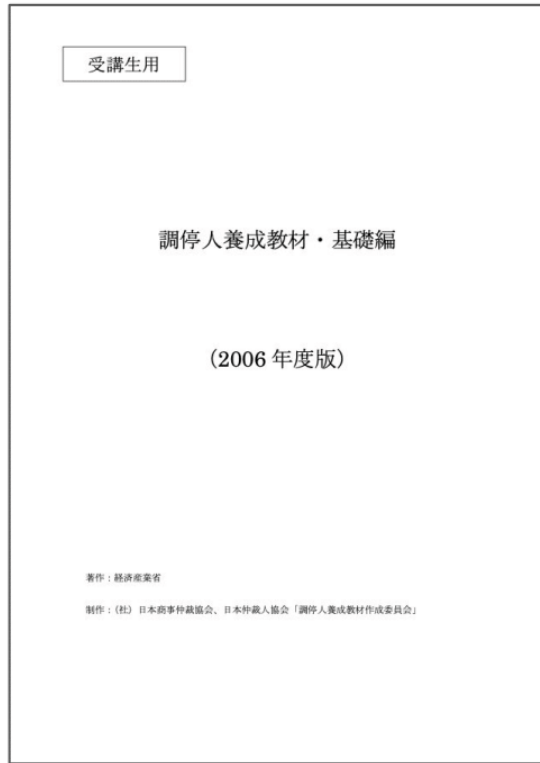


離婚分野におけるADR費用補助は様々な分野に横展開させるヒントになりうるか？  
ただし「期日」概念を取り入れたリアルタイム進行型のADRを想定しておりODR対応が必要かも？

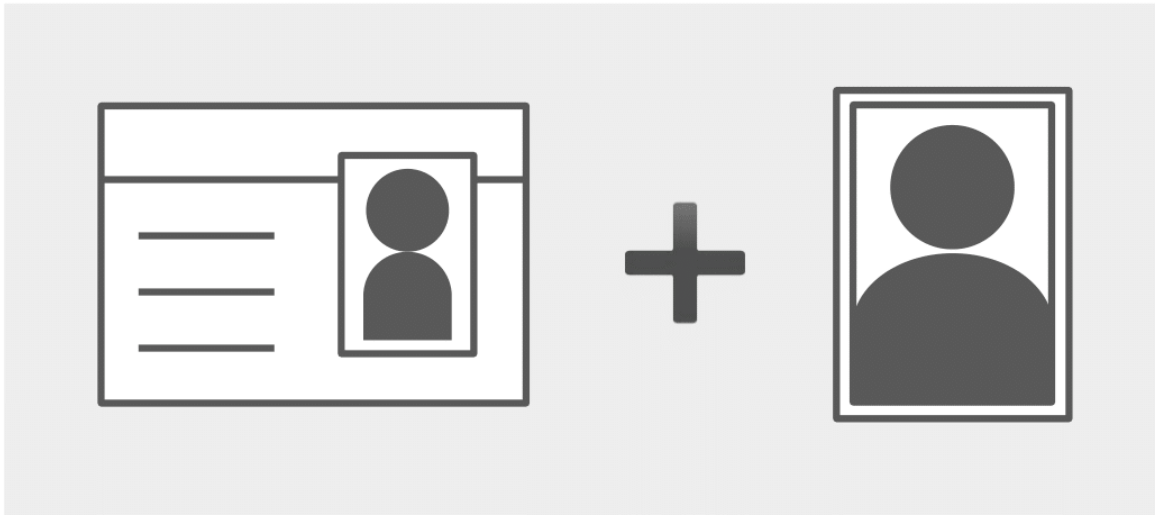


認証ADR機関において成立した和解合意書については、  
認証ADR機関が双方代理して公正証書を作成可能とすることで当事者負担を軽減できるのではないか？

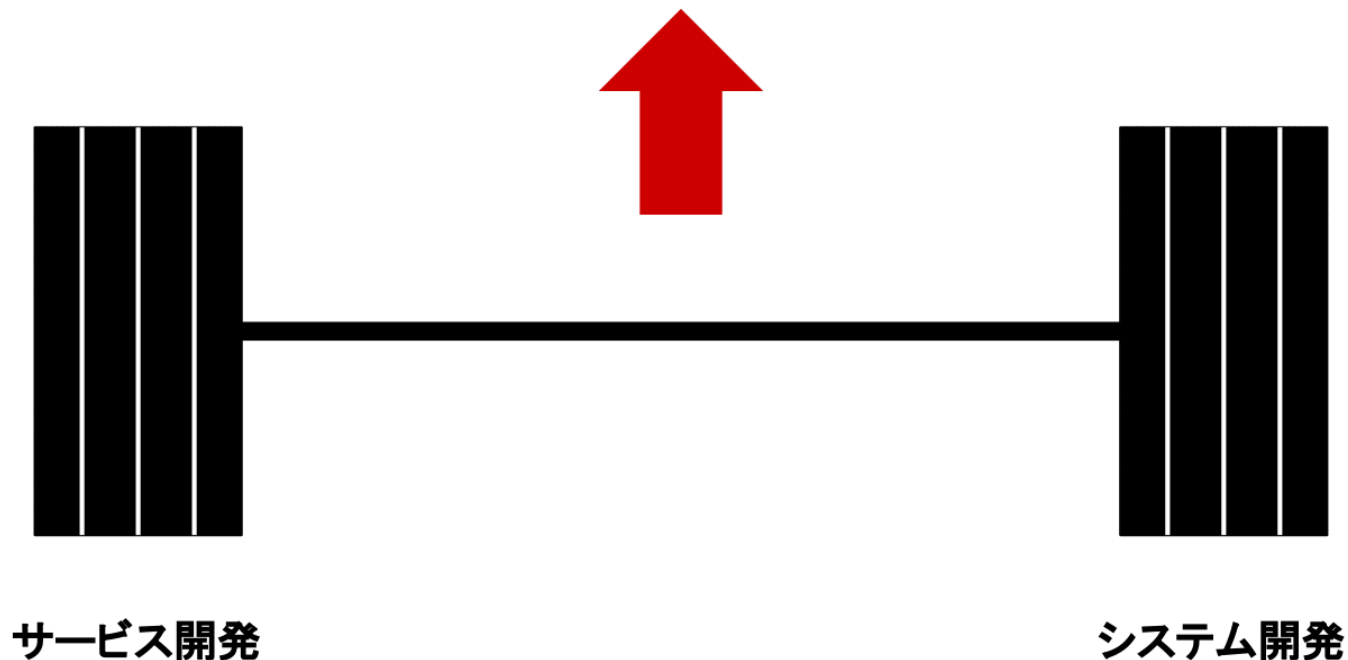
## 2.6. 調停人育成コストの軽減



法務省主導によるODRに最適化した調停人養成教材の開発  
または認証ADR機関が実施する調停人育成のためのコスト補助を検討していただけないか？



本人確認やセキュリティなど、ユーザビリティとの比較で対策のバランスをとっていただきたい



試行錯誤を繰り返しながらサービスとシステムを同時開発するミッションはスタートアップ向き  
士業団体には連携のうえ、ODR調停人の供給を積極的にご検討いただきたい

# MIDDLEMAN

ミドルマン株式会社

代表取締役CEO 三澤透

2012年4月2日(月曜日)設立

2,100万円(資本準備金含む)

東京都品川区西五反田2-10-8-306

ODRシステム開発・提供 リーガルテックサービス開発

電気通信事業の届出番号 A-02-18099(届出年月日:2020年9月7日)

<https://www.middleman.jp/>

<https://www.teuchi.online/>